

報道関係各位

2026 年 4 月 24 日
株式会社コスモスインシア

**未来の当たり前を創造・実現する社内企画「Next GOOD Challenge」
グランプリは、共働き子育て世帯向け「nLDK」物件に
～5 年後のニュースタンドを見据えたリノベーション住戸 4 件が商品化～**

大和ハウスグループの株式会社コスモスインシア(本社:東京都港区、代表取締役社長:高智亮大朗)は、リノベーションマンションの新規商品立案の社内コンペを通じて、未来の事業や商品企画を創造・実現する「Next GOOD Challenge(ネクスト グッド チャレンジ:以下 NGC)」企画を実施しています。このたび 2025 年度のグランプリおよび準グランプリが決定しましたのでお知らせします。なお、受賞企画を含む全 4 企画については、順次商品化し販売していきます※。 ※既に販売済みのものを含みます。



グランプリ企画「間数よりも大切なものがある」ダイニング・キッチン

■「Next GOOD Challenge」企画 住まいのあたりまえを問い直し、“一歩先”のアイデアを商品化

2019 年から実施している「NGC」企画は、未来の事業や商品企画を創造・実現することで、当社のミッションである「Next GOOD」の創出を目的として実施する社内企画コンペです。リノベーション事業を担う当社流通事業部の全社員を対象に、公募型のチームを編成し、発表されるテーマに沿ったリノベーションのアイデアを企画、社内審査を経て、商品化・販売まで実施しています。若手の育成はもちろん、顧客のニーズが多様化する中で、短いスパンで商品化を実現するリノベーション事業において機動力を高め、時流に合致した“一歩先”の商品展開を目指しています。住まいのあたりまえを問い直し、いずれは当社のリノベーションマンション事業の新たなスタンダードとなるような空間設計の創出に取り組んでいます。

■4 企画がエントリー 「5 年後の未来のスタンダードになる住まい・サービス」を捉えた全物件を商品化

2025 年度は、「5 年後の未来のスタンダードになる住まい・サービス」をテーマに、4 チーム計 12 名がエントリーしました。各チーム約 1 年間にわたり、アイデアの構想からプランニング・プロモーション・セールスマまでを見据えた企画を立案。今年度から、最終提案までにピッチ提案や中間プレゼンテーション、オフライン講評会を実施し、より精度と熱量の高い企画が集まりました。顕在化しづらいが、確かに存在するニーズを捉え、未来の当たり前を取り入れた“一歩先”のリノベーションマンション全 4 企画については、順次商品化し販売していきます※。また、来期以降も提案企画の事業化や、参加社員の育成に一層注力し、「NGC 企画」を継続的に実施していきます。 ※既に販売済みのものを含みます。



オフライン講評会の様子

■2025 年度グランプリ・準グランプリ

<グランプリ>

「間数よりも大切なものがある」～今も、未来も、家族に心地良い住まい～

<準グランプリ>

Dual Career's HOUSE ～仕事とスポーツの両立を可能にする住まい～

本年度のNGC企画では、社外審査員3名を含む計5名の審査員により、グランプリおよび準グランプリが決定しました。

グランプリに選出された企画では、女性の社会進出の進展を背景に、キャリア形成後の結婚・出産や、管理職への復帰を志向する共働きの子育て世帯の増加に着目。家庭とキャリアの両立が社会課題の1つとなる中、仕事・家事・育児と忙しい「40代・キャリア志向の共働き子育て世代」をメインターゲットに設定し、5年後の未来のスタンダードになる住まいを構想しています。さらに、検討当初は一戸建・マンションを併願検討しているにもかかわらず、駅周辺の土地不足や価格高騰等の理由により、住まいの選択肢が限定されつつある現状も踏まえて、従来の間取りの発想にとらわれず、“自分たちらしい暮らし方”を実現できる「nLDK」の住まいをニュースタンダードとして提案。家庭と仕事の両立を後押しする空間設計と、家族が現在から将来にわたって快適に過ごせる住まいを目指しました。

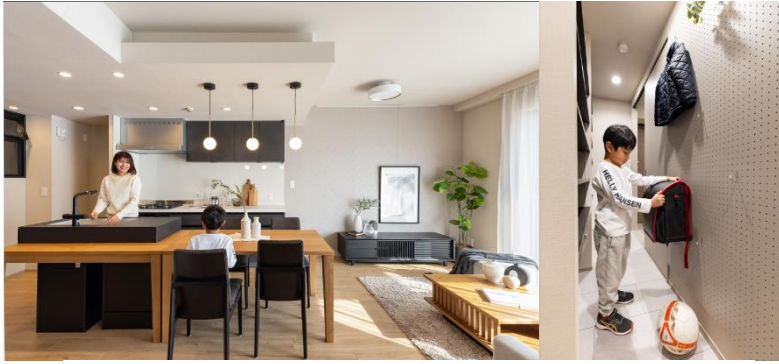
■グランプリ企画 設計ポイント 忙しい日常の暮らしを最適化する空間づくり

一筆書きの回遊動線と、料理をしない時間にも配慮したキッチンを採用することで、開放感のあるシームレスな空間を実現しました。加えて、生活動線上にある大型収納により、家事・育児・仕事の効率化を図っています。また、家族が自然と集まる「小上がり」、子どもの成長やライフスタイルの変化に応じて空間を仕切ることができる洋室も備え、家族の「今」と「これから」の暮らしに寄り添う住まいとなっています。

ホテルライクな寝室や洗面空間、そして室内窓は、日常の中にささやかな非日常感や癒しの瞬間をもたらす、忙しい日々を機能面と心地よさの両面から支える住宅に仕上げました。※本住戸は販売済みです。



間取り図



開放感のあるリビング・ダイニング・キッチンや生活動線上の収納



小上がり



ホテルライクな空間と自由に仕切れる可動式収納

〈審査員評価ポイント〉

- 今回は、ある種引き算をしながらしっかりと得るものや機能を追加しているところが秀逸です。引き算の代償として得られるプラスアルファ機能やメリットのバランス。ここがうまくまとめられていると感じた物件でした。
- 細部まで丁寧に作り込まれた素晴らしい提案だからこそ、成功要因を言語化・型化し、誰もが実践できるモデルへと昇華させていってほしいと思います。

■2025年度 Next GOOD Challenge企画 エントリー企画

- 準グランプリ: Dual Career's HOUSE ～仕事とスポーツの両立を可能にする住まい～
アスリート社員のデュアルキャリアを後押ししてくれる暮らしに焦点を当て、主にワークアウト、仕事・生活、休息の3点を支える設計に。各空間を明確に切り分け、トレーニングジムを模した黒基調や浴室の調光など、色と演出も意識。 ※本住戸は販売済みです。



リビング・ダイニング・キッチン



トレーニングジムを模した洋室

- 女性同士のパートナーのための住まい 家を買ってプロポーズ

女性同士のパートナーの理想の暮らしを実現。収納の数や、音と視線に配慮した設計、「一緒」と「ひとり」を切り替えられる間取りなど、“日々の暮らしを心地よくしたい”というごく自然な当事者の声を反映。今後も、あらゆる二人の住まいを形にしていける、事業としての未来も考えた企画。



リビング・ダイニング・キッチン完成予想 CG



2 ボウルの洗面室完成予想 CG

- 新1LDKの可能性を無限大に ～新COMPACTへの挑戦～※

住戸は縮小し、暮らし方が多様化する中で、設備や時間の効率化に対するニーズを察知。浴槽をなくし、キッチン是最小限にしたほか、リビングや洋室の機能を決めつけ過ぎず、気分や用途に合わせて変化する空間にするなど、限られた面積で自己実現を叶える住まい。※本住戸は販売済みです。



リビング・ダイニング・キッチン



洗面収納

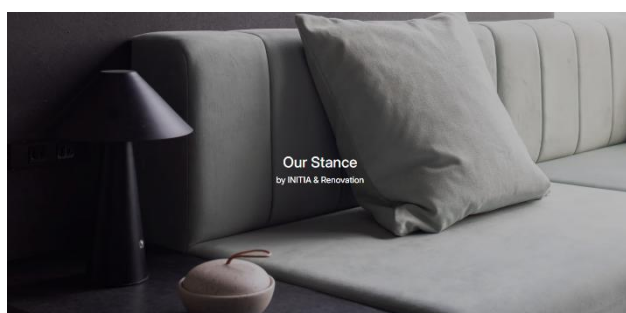


シャワー室

コスモスイニシアのリノベーション

INITIA
& Renovation

コスモスイニシアのリノベーションマンション「INITIA&Renovation」は、コンセプト「暮らしに、心に、確信を。」のもと、住まい手目線の実用的な設計と、一人ひとりの感性を重視したアイデア豊かな空間・内装デザインを追求しています。心と体が安らぐ心地よい安心感と、時を重ねるほど自分らしさが深まる暮らしを提供し、「ここに住んでよかった」という確信を届けてまいります。



「INITIA & Renovation」ブランドサイト



「Premium Club」会員登録サイト

<https://www.cigr.co.jp/pj/contents/renovation/>

<https://www.cigr.co.jp/pj/contents/renovation/premiumclub/>

| コスモスイニシアについて | <https://www.cigr.co.jp/>

コスモスイニシアは、新築マンション・一戸建、リノベーションマンションなどの住まいを提供するレジデンシャル事業、投資用・事業用不動産の開発・仲介・賃貸管理などを行うソリューション事業、ファミリー・グループでの中長期滞在に対応するアパートメントホテルなどの開発・運営を行う宿泊事業を展開しています。社会の変化とニーズの多様化とともに事業領域を拡大し、都市環境をプロデュースする企業へと進化を続けています。

私たちは、ミッション『「Next GOOD」お客さまへ。社会へ。一歩先の発想で、一歩先の価値を。』の実現に向けて全ての経営活動において共通価値の創造を実践していきます。これからも、期待を超える安心や喜びをもたらす価値を追求し、商品・サービスの提供を通じて社会課題を解決するため、より多くの「Next GOOD」を、お客さま、社会と共に創ってまいります。

COSMOSTyle

コスモスイニシアのオウンドメディア「COSMOSTyle(コスモスタイル)」

<https://www.cigr.co.jp/cosmostyle/>

以 上

<当資料に関するお問い合わせ先>

株式会社コスモスイニシア 経営企画部 総合企画課 広報担当 根岸・三木・奥村
TEL:03-5444-3210 FAX:050-3156-2937 EMAIL: box-gr-sen@ci.cigr.co.jp